

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 9:30～午後 3:30

No.242 2018 年 1 月 1 日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086
発行責任者 中 秀 晃
編 集 坂田 祐美
定価 50 円(会費に含む)

新年のご挨拶

会長 池田 充

あけましておめでとうございます。

昨年、会活動に皆様のご理解とご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、年 2 回の「慢性腎臓病講演会」をはじめ「透析患者のための勉強会」、女性部の「女性セミナー」、青年部、移植部合同の「臓器移植講演会」などが中心の、充実した活動内容になったと思っております。

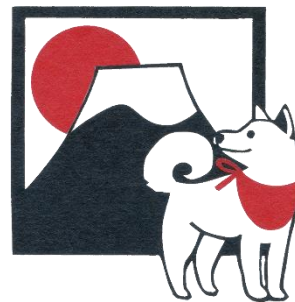
しかし、残念ながら会員数は年々減少しているのが現実です。透析患者の高齢化に伴い、「自分には関係ない」とか「高齢なので活動もできない」と思っている方も少なくないようです。果たしてそうでしょうか。

私たちは今、安定した透析治療を受けることができます。さらに月約 40 万円かかる治療費が社会保障制度により無料となっています。さらに、税金の減免や障害年金等の恩恵を受けています。

しかしこれらは永遠に継続する制度ではありません。今や医療も介護も自己負担が求められる時代です。今後、さらに自己負担増が求められる傾向がみられます。

今私たちは、腎友会、一般社団法人全腎協の全国組織として活動しています。そのため国も無下にできず、結果として厚労省との交渉や国会請願の活動にもつながっています。

今後も安定した透析治療を継続していくためには、会員数の増加が力となります。一人でも多くの患者が会員になっていただけるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



富山県内の透析患者数2,560人に

昨年 6 月 16 日から 18 日に横浜市で開催された、第 62 回日本透析医学会学術集会・総会の統計資料によりますと、2016 年末現在の透析患者数は全国で 329,609 人(前年末より 4,623 人増)、その内富山県は 2,560 人(前年末より 54 人増)であることが分かりました。

富山県腎友会では、年間を通じて会の組織率を割り出す際、この患者数を基準とし推定しています。昨年 11 月末現在では、会員数 1,219 人、組織率 47.6%になります。

【2016 年末 富山県の透析治療の形態別患者数】

血液透析 等					腹膜透析 等					計
血液透析 (HD)	血液透析濾過 (HDF)	血液濾過 (HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析 (PD)	週1回の HD(F)等と併用	週2回の HD(F)等と併用	週3回の HD(F)等と併用	上記以外の併用	
2,005	432	0	12	2	85	19	5	0	0	2,560

全国的にも、血液透析(HD)は 241,685 人(73.3%)と最も多く、次いで血液透析濾過(HDF)が昨年より 2.1 万人増え 76,836 人(23.3% 6.3%増)、在宅血液透析は 635 人(0.2%)、腹膜透析は 9,021 人(2.7%)などとなっています。※県内の血液透析濾過(HDF)は 146 人増

また、透析導入患者の主要原疾患について、1998 年以降、糖尿病性腎症が慢性糸球体腎炎に替わって原疾患の第一位になっており、2016 年末では全体の 43.2%、慢性糸球体腎炎は 16.6%、腎硬化症 14.2%、多発性嚢胞腎 2.6%などとなっています。

国会請願署名・募金について

毎年会員の皆様にご協力いただいている署名ならびに募金は、腎臓病患者の医療や生活を守るためにとても大切な活動です。

請願書をまだ提出されていない方は、1月中でも間に合いますので、一人でも多くの署名をよろしくお願いいたします。

インフルエンザに注意！

インフルエンザ流行のピークは1月から2月といわれており、ノロウイルスによる冬場の食中毒や感染症が流行するのもこの時期です。

日頃から、「手洗い、うがいの徹底」、「マスクの着用」、「栄養、睡眠を十分にとる」など、感染予防に心がけてください。

また、発熱、おう吐、下痢などの症状がある場合は、透析へ行く前に必ず透析施設へ電話をするようにしましょう。



青年会員交流会 in クリスマス

12月10日(日)、富山大和6階ロイヤルルームにおいて今年度2回目の交流会を開催しました。

交流会には、初めての方や馴染みの方など26名が参加し、食事を交えながら親睦を深めました。

またこの機会に、透析にかかわる社会保障制度等について、クイズ形式で考えていただく時間も設けました。



今後の予定

- 全腎協理事会 1/27～28 東京
- 役員選考委員会 2/4 富山市総合社会福祉センター
- 第38回理事会 2/18 サンシップ



診療報酬改定に向けた動き

透析患者数は32万人を超え、日本の透析にかかる医療費は1.6兆円(総医療費の約4%)という状況のなか、12月8日に開かれた中央社会保険医療協議会(中医協)において議論された、透析医療にかかわる改定項目のうち、透析患者へ影響するのではないかと思われるものについてお知らせします。

■ 6時間以上の長時間透析の評価

現在、透析時間(オンラインHDF除く)の診療報酬は、「4時間未満」、「4時間以上5時間未満」、「5時間以上」の3つに分けられていますが、長時間透析が合併症のある患者に対し、より質の高い治療となることから、この区分に、「6時間以上」が新しく加わるものと思われます。

しかし、6時間以上の長時間透析を受ける場合に何らかの条件がいたり、従来の透析時間区分が大きく再編され、結果的に6時間以上の透析が広がっても、全体として透析時間が短縮されることにならないか危惧される部分もあります。

■ 施設規模による「適正化」

透析施設の規模や患者数によって効率性が異なっている実態を踏まえ、患者数や透析機器1台あたりの使用回数の状況に応じて、適正化が図られるものと思われます。特に患者数の多い透析施設では、診療報酬が「引き下げ」られるのではないかと危惧されます。

上記は途中経過ですが、今後何らかの動きがあればまたお知らせいたします。

訃報

当会元副会長の坪野利則さんが12月8日にご逝去されました。

坪野さんは平成8年から13年にわたり本会役員を務められ、会の運営にご尽力いただきました。坪野さんのこれまでの功労に感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



おくやみ

- 黒田 英雄 殿 あさなぎ病院 享年91歳
- 若井 貞克 殿 富山労災病院 享年66歳
- 坪野 利則 殿 黒部市民病院 享年80歳
- 横谷 一雄 殿 あさひ総合病院 享年76歳
- 廣世 俊雄 殿 富山労災病院 享年76歳
- 村上 繁久 殿 黒部市民病院 享年83歳
- 谷 憲昭 殿 あさなぎ病院 享年70歳
- 角間 外博 殿 長谷川病院 享年80歳

謹んでご冥福をお祈り致します